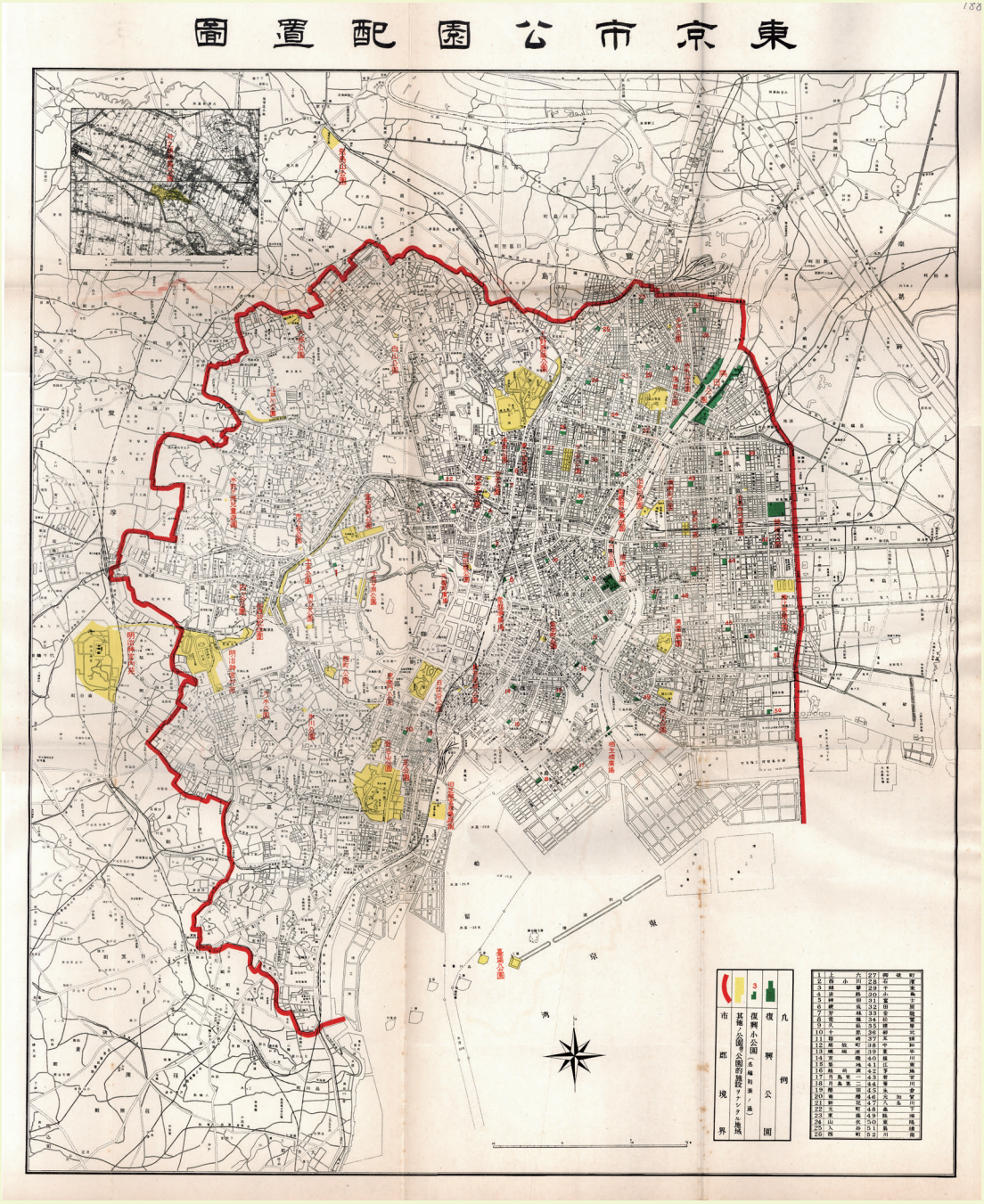


東京市公園配置図

『帝都復興事業誌　建築篇・公園篇』
（U519．86－ふこ－1713）

この図は関東大震災後の東京市内の公園の位置を示したものです。赤い線は東京市の境界を示しており、復興事業前に作られていた公園は黄色で、復興事業で作られた復興小公園・大公園は緑で示されています。明治６年（1873）の太政官布告、明治36年に改正された市区改正事業によって東京にも少しずつ公園が作られ、関東大震災の際には防火帯として火災の広がりを抑える役割も果たしました。

震災後には大きな被害を受けた地域を改めて調査され、災害に備えて空地を設ける意味も含めて、52か所の復興小公園と、３つの大公園（浜町公園、隅田公園、錦糸公園）が作られました。